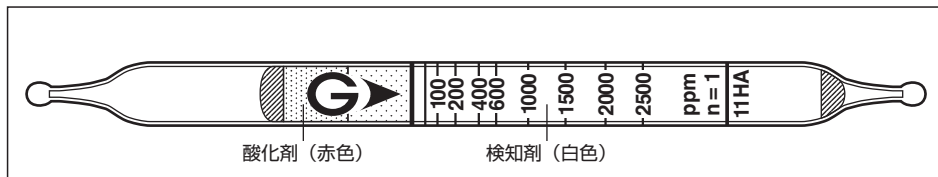


窒素酸化物 NO + NO₂

No.11HA

Nitrogen oxides



仕様 最低目盛 (50ppm) は数値の記載が無く、実線のみで印刷してあります。

測定範囲	(50) ~ 2500 ppm
吸引回数	1回(基準) (100ml)
係数	1
測定所要時間	1.5分

検知限度: 10 ppm (1回吸引)

変色: 白色 → 緑色

温・湿度補正: なし

有効期限: 2年

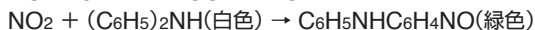
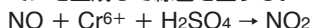
指示精度:

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV: 変動係数 = σ : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

反応原理

一酸化窒素は二酸化窒素に酸化され、ジフェニルアミンと反応し、p-ニトロソジフェニルアミンを生成して緑色を呈する。



干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
オゾン	200ppm以上	境界不鮮明 (2層変色)	茶色に変色
塩化水素 二酸化イオウ, 硫化水素	500ppm以上	境界不鮮明 影響しない	100ppmで青紫色に変色 変色しない

酸化剤: 一酸化窒素を二酸化窒素に酸化する。有機溶剤が高濃度共存すると酸化剤は劣化を起こして一酸化窒素は低めの誤差を生じる。

校正用ガス

高圧ガス容器詰法